

氏名（本籍） 鈴木 麻菜美（埼玉県）
学位の種類 博士（音楽学）
学位記番号 乙第8号
学位授与年月日 令和2年3月19日
学位授与の要件 学位規則第3条第4項
学位論文題目 オーストリアにおけるアレヴィーとその音楽
一人の移動が宗教的自文化表現とその継承にもたらす影響

学位論文等審査委員

（総合審査）	委員長	教授	吉成 順
		教授	久保田 慶一
		教授	阪上 正巳
		教授	津田 正之
		教授	友利 修
（論文審査）	委員長	教授	吉成 順
		教授	久保田 慶一
		教授	阪上 正巳
		教授	津田 正之
		教授	友利 修

米山 知子
（日本学術振興会特別研究員 RPD（関西学院大学）
京都外国語大学外国語学部 非常勤講師
立命館大学産業社会学部 非常勤講師
関西学院大学国際学部 非常勤講師）

審査結果の要旨

審査所見

学位審査委員会は、申請者 鈴木麻菜美 の学位申請論文に関して厳正な審査を行った。以下に、1. 論文審査、2. 総合審査に関する所見を記す。

1. 論文審査

この論文は、イスラムの流れをくむ宗教グループ、アレヴィーの中でも、オーストリアで移民コミュニティを形成する人たちを対象とし、社会環境の変化が宗教的自文化表現とその継承にどのような影響を及ぼしているかを解明しようとしたものである。

序論に続く第I部(第1章～第3章)では移民やディアスポラが文化表現にもたらす影響について論じ、とくにオーストリアにおけるトルコ系移民のコミュニティの社会的背景を描く。第II部(第4章・第5章)では宗教グループとしてのアレヴィーの特徴を検討し、宗教儀礼における音楽やセマー(旋回)について論ずる。主要部分といえる第III部(第6章・第7章)ではオーストリアの移民コミュニティにおけるアレヴィーの自文化表現の場がどのように形成され、どう実践・継承されているかを調査・観察し、第IV部(第8章)ではそれらを総括し、分析してまとめている。

綿密な現場調査と文献調査に基づいた大変興味深い研究であり、情報量が多く、構成や各章の記述も詳細で、得難い労作として高く評価できる。研究者自身の立てた問いに対し結論で相応の回答が与えられており、そこにオリジナリティを見ることも可能である。

広い学術的な視野から見たときにいささかの物足りなさも残るものの、情報量の多い労作として価値は極めて高いことから、審査委員会は申請論文が音楽学研究領域の学位論文として合格であると判定した。

2. 総合審査

総合審査では、論文審査の評価を確認したうえで、申請者のこれまでの研究活動の内容や、これまでに発表された業績の評価なども考慮して、総合的な審査を行った。その結果、申請者が「自律して研究を展開することができる意志と能力を備え、我が国の音楽文化の進展に寄与するとともに、国際的にも有意義な問題提起のできる質の高い研究者」として、将来も活動していくことが十分に期待できることから、「博士（音楽学） Doctor of Philosophy in Musicology」の学位を授与するに相応しいものと判定する。